

社会実験の概要

期間:平成25年10月19日(土)～平成25年12月1日(日)

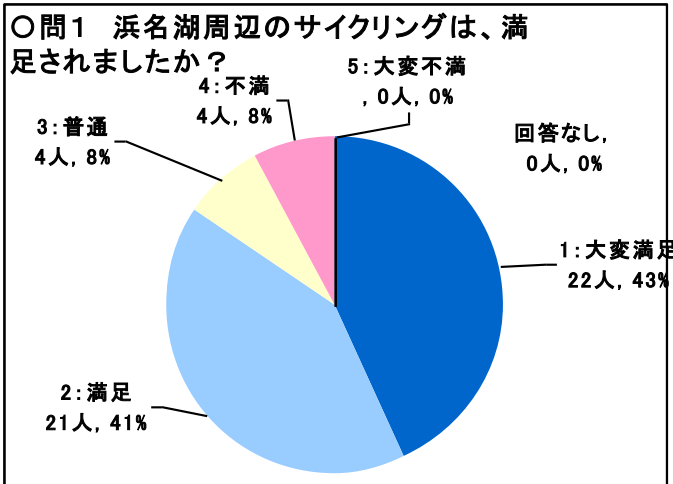
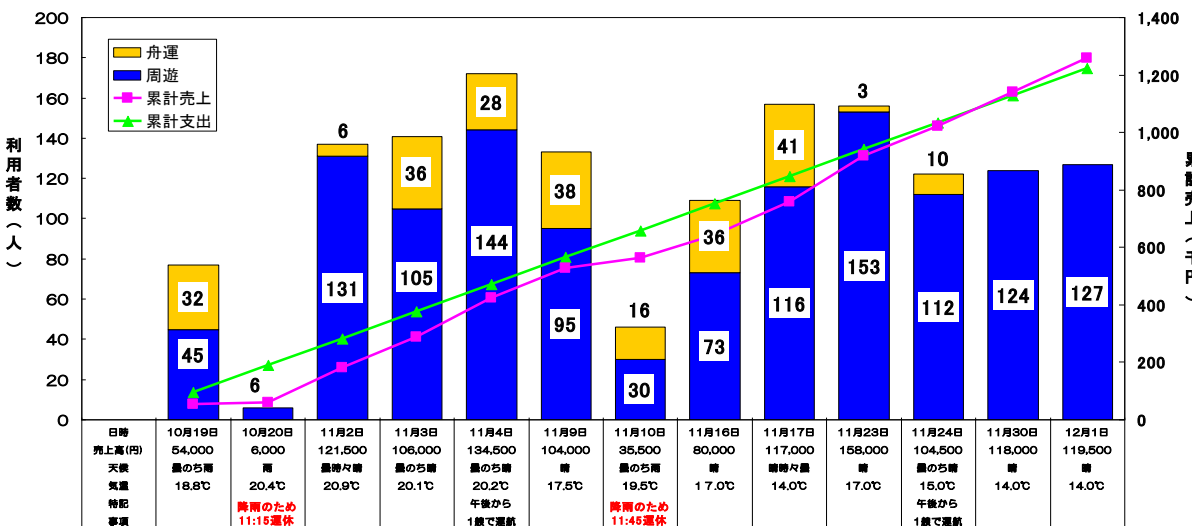
内容:

- 1. 舟運事業・レンタサイクル事業が地域振興に資する実現性の検証
 - ① 浜名湖SAにおける舟運・レンタサイクル事業の潜在需要の確認
 - ② 舟運・レンタサイクル事業の持続可能な収益性の確認
 - ③ 舟運・レンタサイクル事業がもたらす浜名湖SAへの効果の確認
- 2. 舟運(船舶輸送)による減災への貢献効果の検証
 - ① 緊急時における舟運を利用した避難行動の把握
 - ② 緊急時における舟運を利用した緊急輸送ルート等の有効性の確認



実験結果

遊覧船利用者数と収支



遊覧船事業では収支（原価）では黒字（プラス）を確保。

レンタサイクル利用者の満足度は高い。

本格実施に向けた課題

- ・遊覧船事業については需要が高く、持続可能な収支が見込める。また、「SA駐車場」への影響は限定的であり、本格運航手続きを行う。(⇒平成26年3月21日より本格運用開始)
- ・レンタサイクル事業については、利用者満足度は高く潜在需要も確認できたが、利用者自体が少なかったため、他事業との連携も視野に引き続き実現性について検証を行う。
- ・災害時の舟運利用については、輸送時間・輸送能力などから減災への有効性を確認できたので、災害時に活用する。